

令和4年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和市上草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター上草柳会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
上草柳	19	1,006	65	81	1,171	3.8	308

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

	事業名	開催期間	参加者数
4	春の工作(プラバンでバッグのキーホルダーづくり)	4/12～4/24	21人
4・5	母の日プレゼント工作(デコバージュとカードづくり)	4/28～5/8	23人
6	森先生の科学教室(シャボン玉で遊ぼう)	6/4	15人
	防災訓練	6/7	
	父の日プレゼント工作(羽のストラップとカードづくり)	6/8～17	20人
6・7	七夕飾り・短冊	6/19～7/2	4人
7	七夕のつどい	7/3	24人
	夏休み工作I(貝殻の壁飾りづくり)	7/6～7/17	19人
	チャレンジ30(迷路・間違い探し等)	7/21～7/31	22人
8	夏休み工作II(竹のけん玉づくり)	8/2～8/12	11人
	チャレンジ30(迷路・間違い探し等)	8/13～8/21	3人
	夏休みお楽しみミニ縁日(射的・ストラックアウト)	8/23～8/25	23人
9	工作(粘土のカップケーキづくり)	9/7～9/21	20人
	ミニ縁日(射的・さかな釣り)	9/24～9/29	17人
10	工作(アイロンビーズづくり)	10/6～10/22	20人
	ミニ縁日(射的・さかな釣り・ミニバズーカー)	10/29	14人
11	森先生の科学教室(スライムで遊ぼう)	11/6	16人
	工作(UVレジンづくり)	11/11～11/26	22人
12	クリスマス工作(クリスマスリースづくり)	12/6～12/21	18人
	クリスマス会(映画鑑賞・ゲーム・クイズ等)	12/11	42人
	防災訓練	12/22	5人

1	千支工作(羽子板飾りづくり)	1/12~1/31	16人
	伝承遊び(けん玉)	1/17	5人
2・3	おひな様工作(扇の雛飾りづくり)	2/7~3/3	18人
3	工作(アイロンビーズ)	3/15~31	18人

※コロナ禍の影響により、コミセンまつり(子どもコーナー)、新1年生にプレゼント工作の配布は中止。

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,845,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,589,331
雑入 (預金利息等)	6	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	245,397
収入計(①)	2,845,006	支出計(②)	2,834,728

収支決算	10,278
------	--------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和5年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和4年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・コロナ禍中の運営について、感染防止対策の徹底が継続されております。作年度より来館者数が減少しましたが、毎月実施している工作やイベント等の実施により、一定数の児童が放課後の居場所として利用していることから、より多くの子どもたちが集う児童館となるよう、今後における工作やイベント等の継続に期待します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・感染防止対策を徹底し、イベントや工作などに積極的に取り組み、今年度、計画したほとんどの自主事業を実施できたことを高く評価します。 ・工作やイベントは利用者の関心や興味を引く内容、知識を高める科学教室などを企画するとともに、昨年度とは異なる内容とすることで、子どもたちが飽きず、創作意欲を向上させるよう努めつつ、毎月開催することで児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・消毒ができるカードゲームを取り入れたり、感染状況によってイベント内容を変更したりと、現状において、できる限りの工夫を凝らし、子どもたちが安全に児童館を利用できる運営を行っている点を評価します。 ・子どもたちに人気の卓球については、時間制限を設けるとともに、消毒の徹底など、コロナ禍の中でもできる限り児童の要望に応える取り組みを評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。